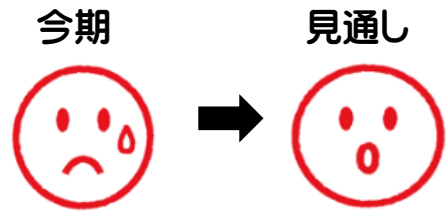


# 建設業

回答率:95.2%(59/62)



## ■丹波市の景況推移

相変わらず人材が不足している。受注は一定数あるが、思うような業績に繋げることが出来ていないため、人材の育成が急務と考えている事業所が多い。



## ■丹波市の景気動向



## 【丹波市の今期の景況】

建設業全般では、消費増税の影響が若干あり、9月末までに工事をして欲しいという駆け込み需要が見られた。電気工事業では、市内小学校の教室にエアコンが付いたため、取付工事で9月までは忙しかった。

## 【丹波市の来期の景況予想】

人手不足が現在も深刻な状況が続いている中、最低賃金の見直しによる人件費の高騰の影響を受けて、今後、収益悪化を懸念する声が多い。受注があっても仕事を取ることが出来ない悪循環により、売上は右肩下がりの状況である。

## ■全国の景気動向

消費増税前の駆け込み需要で契約した工事が本格化しており、忙しい状況が続いた。また、五輪関連工事に加え、台風被害による復旧工事も増加することが見込まれ、引き続き忙しい状況が続くと見られている。

## ■県下の景気動向

兵庫県下では、阪神地域や東播磨地域を中心に道路の更新工事、神戸港沖の災害復旧、学校給食センターの整備などの大型公共工事の発注を含め、公共工事が前年同月比 44.1%の増加となった。

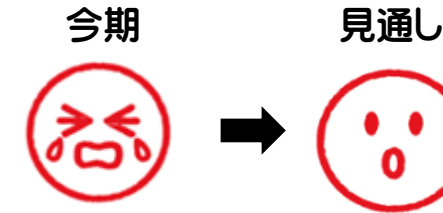
## ■地区ごとの回答(前年同期比)

	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島	合計	構成比
良い (増加+やや増加)	0	8	3	4	3	0	18	30.5%
不変	4	11	3	2	3	3	26	44.1%
悪い (悪化+やや悪化)	0	3	2	5	1	4	15	25.4%
合計	4	22	8	11	7	7	59	100.0%

# 製造業

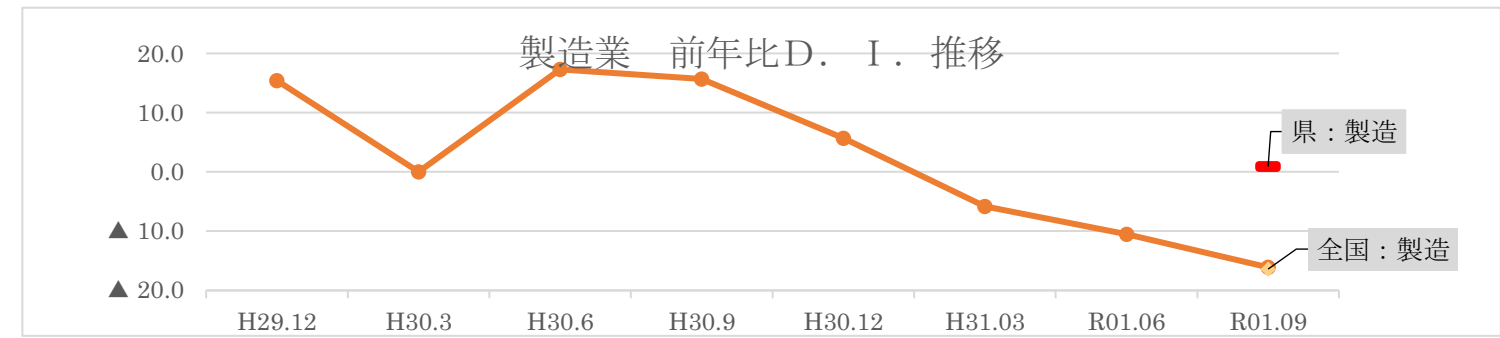
回答率:98.2%(56/57)

2019年7月~9月期調査

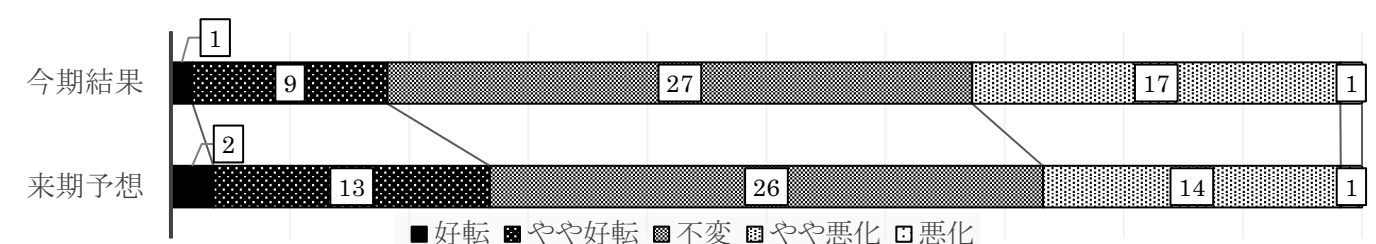


## ■丹波市の景況推移

丹波市内においても米中貿易摩擦の影響が徐々に出てきており、製造業全般に受注量が減少傾向にある。今後の外部環境の変化に対応できる技術力の強化・人材の育成が必要となる。



## ■丹波市の景気動向



## 【丹波市の今期の景況】

都心部の景気の上昇とは逆に、一部、海外需要の停滞などで受注量や生産量が減少している事業所もあり、全体的に丹波市の景況感は若干悪化している。

## 【丹波市の来期の景況予想】

今後も引き続き人手不足や消費増税など事業所を取り巻く環境は厳しい。一方、年末にかけて需要が増加する贈答品等を取り扱う事業所からは、改善を期待する声もあるが、全体としてみると景気の上昇は見られない。

## ■全国の景気動向

機械輸送機器分野では自動化のニーズは堅調であるが、国内での人手不足は深刻で、AI・IoT領域での人材力の強化が鍵である。また、海外では貿易摩擦や中国経済の減速などが懸念される。また、紙・パルプ業界では、国内での紙需要が少しずつ減少し、それに対応した生産体制の再構築が求められている。逆に海外では積極的な投資による事業の拡大が予想される。

## ■県下の景気動向

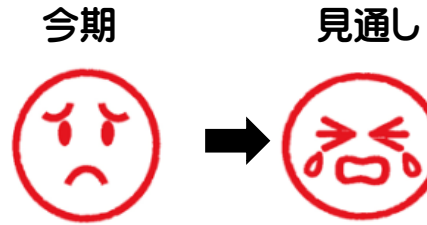
金属業界では、堅調であるが同時に原料価格、資材・物流費などが引き続き上昇し、利益が減少すると予想される。また、製造業全体として一部に需要の停滞がみられるものの、全体としては緩やかに持ち直し、それに伴い労働者の賃金も上昇傾向にある。

## ■地区ごとの回答(前年同期比)

	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島	合計	構成比
良い (増加+やや増加)	0	3	0	0	5	3	11	19.6%
不変	4	6	1	4	8	2	25	44.7%
悪い (悪化+やや悪化)	3	3	6	3	4	1	20	35.7%
合計	7	12	7	7	17	6	56	100.0%

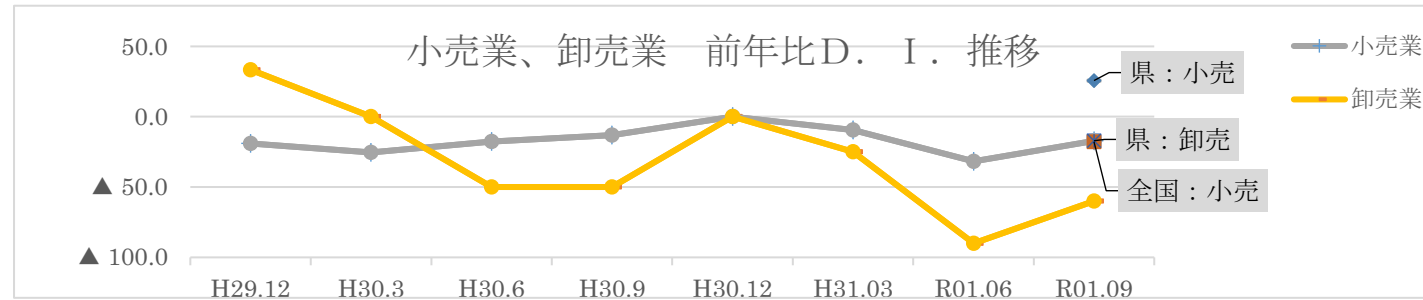
# 小売、卸売業

回答率:91.9%(68/74)

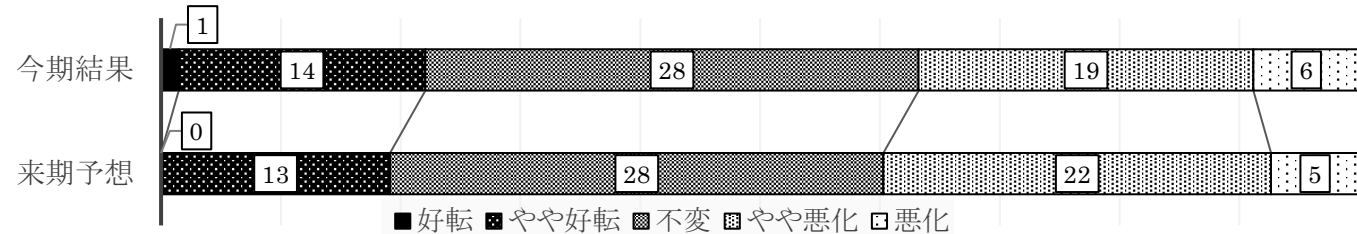


## ■丹波市の景況推移

消費者へのポイント還元事業の対応に遅れている事業所もあり、集客や売上への影響を不安視する声も多い。更に、消費税増税前の駆け込み需要に期待していたが、思うような結果を得られていない。



## ■丹波市の景気動向



### 【丹波市の今期の景況】

消費増税による駆け込み需要もあまりなく、思ったほど売上は伸びていない。一方、新規顧客を獲得するため、チラシ配布などの販促活動を地道に行っている事業所からは徐々に来客数が増加しているなどの声を聞いている。

### 【丹波市の来期の景況予想】

消費税軽減税率制度の開始による会計処理の複雑化に加え、キャッシュレス決済の消費者還元事業が同時にスタートし、対応への不安感や決済手数料によるコスト増を懸念する事業所が多い。

## ■全国の景気動向

消費増税による駆け込み需要の恩恵を受けることは出来たが、引上げ後の顧客動向を不安視する声が多い。その他、観光関連の小売業では台風による被害や、韓国との関係悪化の影響を大きく受け、観光客の減少が見られた。

## ■県下の景気動向

県下の百貨店などによると、梅雨明けが遅れた影響から、衣料品を中心に盛夏商品が不振だった。一方で、高額商品については増税前の駆け込み需要が追い風となり、海外高級ブランドの靴や靴などの身の回り品の売れ行きは好調であった。

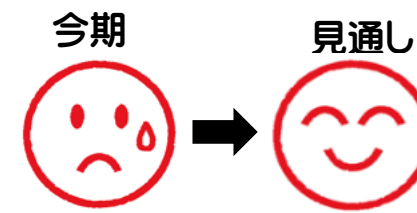
## ■地区ごとの回答(前年同期比)

	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島	合計	構成比
良い (増加+やや増加)	5	5	1	2	1	0	14	20.6%
不変	1	15	0	3	1	4	24	35.3%
悪い (悪化+やや悪化)	5	6	4	4	9	2	30	44.1%
合計	11	26	5	9	11	6	68	100.0%

# 飲食・宿泊、サービス、その他業種

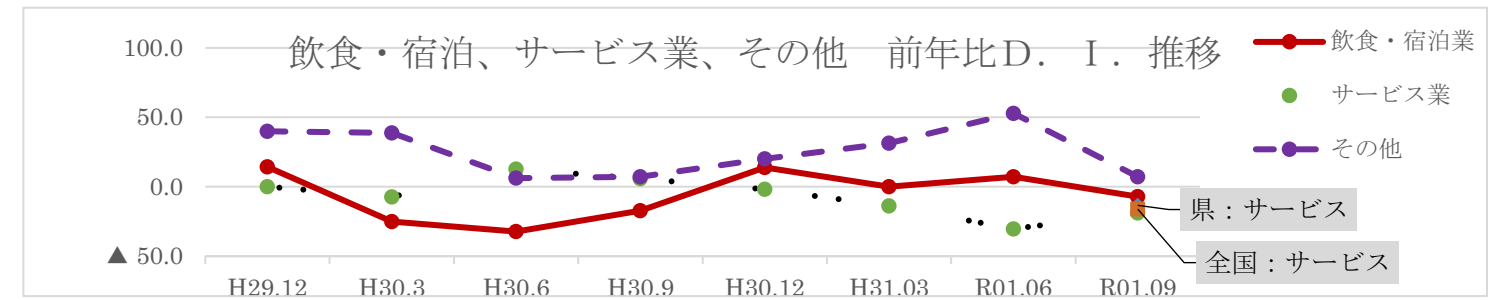
回答率:88.8%(95/107)

2019年7月~9月期調査

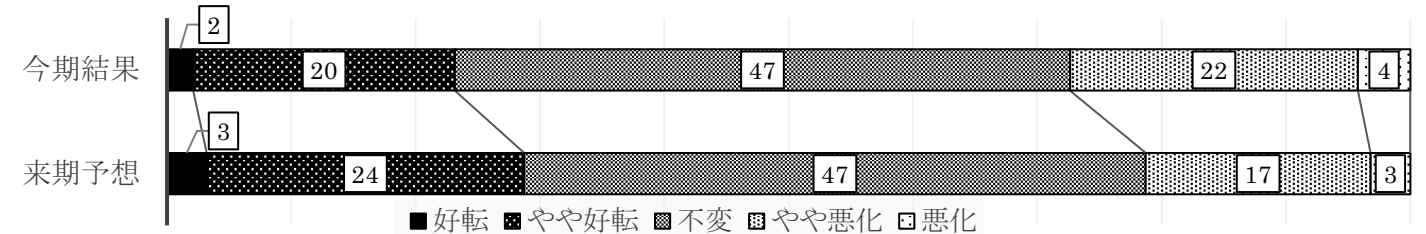


## ■丹波市の景況推移

台風や大雨の影響で観光客の数が減少したことに加え、仕入価格の上昇などの理由により、利益を圧迫している事業所もある。



## ■丹波市の景気動向



### 【丹波市の今期の景況】

台風の影響で宿泊・レジャー施設では、予約のキャンセル等が生じ、一時的に売上が悪化した事業所もあったが、全体としては堅調である。また、消費増税に伴う価格改定への対応が出来ていない事業所もあり、10月以降の利益の圧迫も懸念される。一方で、丹波市医療センターの開院により、売上を大幅に伸ばしている飲食店もあった。

### 【丹波市の来期の景況予想】

飲食関連では、各地で開催される秋の行楽イベントや忘年会などの年末特需に対する期待感は大い。市外からの集客も見込まれるぜんざいフェアが11月3日から始まることもあり、売上の増加を期待する事業所もある。

## ■全国の景気動向

人材派遣や教育関係は、働き方改革の影響で多様な人材活用が進み、好調が続いている。ネット関連事業もインターネット広告の利用が拡大し、増収傾向にある。また、ホテル・旅館業においては、限定的ではあるが、消費増税の影響もあり、設備投資が増加すると見られ、利益圧迫の懸念がある。

## ■県下の景気動向

宿泊施設、飲食、レジャー関連においては、増税前という事もあり、駆け込み需要のような動きがみられ、比較的景気は好調である。

## ■地区ごとの回答(前年同期比)

	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島	合計	構成比
良い (増加+やや増加)	5	8	3	2	3	2	23	24.2%
不変	8	12	3	4	4	7	38	40.0%
悪い (悪化+やや悪化)	9	9	2	6	4	4	34	35.8%
合計	22	29	8	12	11	13	95	100.0%